

『精神的ジャパニーズドリーム』

～ 理念の革命～

【あとがき】

「精神的ジャパニーズドリーム」の大半は、私が二十六才の時に思索し、書き綴ったものである。しかし、今、読み直してみても、その中にある「真理」は、永遠のものであると感じる。これは、これから何十年経っても、同じように感じ、自らの原点となってゆくものであると思う。

その背景にあるのは、これらの論文が、啓示を受けて綴られたものであるからであろう。その主たる指導霊は、「天御中主神」と呼ばれる神である。

この神は、日本神道系霊団の長であり、新生日本の行方に関して、最も責任を持つ神であられる。古事記の冒頭に、「天地初めて発けし時、高天原に成りませる神の名は、天御中主神」として、最初に登場される神でもある。

この神は、大いなる夢を抱くこと、そして、大いなる夢を実現することを真骨頂とされる「大いなる夢の神」なのである。

その証に、かつてアメリカのエマソンを指導され、アメリカのニューソートと

いう成功哲学の流れを創り出し、アメリカにアメリカンドリームを実現させる原動力となったという実績を見てもうかがえるものである。

しかし、「天御中主神」が、本来、日本神道系霊団の長であられる以上、「ドリーム」潮流とは、日本が本家本元なのである。

故に、これより、「天御中主神」が、「精神的ジャパニーズドリーム」の主宰神となって、圧倒的な光の奔流を降ろしてゆかれる以上、かつてのアメリカンドリームを上回る程の「精神的ジャパニーズドリーム」を実現してゆくことになることが予想されるのである。

また、天上界からも、この日本に数多くの天才達が、「精神的ジャパニーズドリーム」、新生日本建設の時期に合わせて、それを担うために生まれておられるのである。それは、読者の中にも数多くおられるのである。

だから、確実に、完成度高く、各分野において、そうした方々が生長され、日本を本当の意味での奇蹟の国神国と成してゆくために、この「精神的ジャパニーズドリーム」は綴られたのである。

啓示を与えて下さった方は、哲学でいえば、ソクラテス、プラトンや、カント、ヘーゲル等からいただいたものもあるし、ある時には、シェークスピアや、ニュートン等の啓示をいただいたものもある。

このように、多彩なる高級霊が、「精神的ジャパニーズドリーム」実現のために協力して下さっているのである。このように、各編は、すべて啓示の言魂で綴られているので、論文が詩編にもなるのである。

数多くの同志の方々から、本書の感想文や、論文、提案等が届くことを、何よりも心待ちにしています。